

パラフレーズをマスターせよ!!



映像でも少し触れましたが、英語は繰り返しを嫌う言語です。

つまり同じ表現を何度も使うのではなく別の語で言い換えたり、品詞や、文型を変えたりすることで別の形で表現するのが一般的です。この方法をパラフレーズと言い、これは IELTS だけではなく、実際に留学中にエッセイを書く際にも必要なアカデミックスキルの一つです。

例えば、IELTS のライティングでは提示されている問題文を一語一句そのまま写すと、文字カウントに含まれないので、パラフレーズのスキルが必須で、適切にできるか否かで、1.0 はスコアが変わります。ここではライティングに焦点を当て、パラフレーズに不可欠な知識と、4 つの方法を一緒に見ていきましょう。



4つのパラフレーズメソッドはこれだ!

1. 類語による言い換え：よく似た意味の単語で置き換え

例 1) 「大幅な増加」: a significant increase ▶ **a dramatic rise**

例 2) 「経済を発展させる」: stimulate the economy ▶ **lead to economic development**

- これが最も一般的な方法で、Thesaurus (類語辞典) を利用すれば類語が見つかりやすくなります。ただし、機械的に置き換えるのではなく、コンテキストに合わせて言い換える力が求められます。ですので、類語を見つけたら英英辞典でその都度用法や定義を確認するようにしましょう。

2. 品詞の変化：「名詞⇒動詞」「形容詞⇒名詞」（それぞれ逆も可）のように変化

例 1) 「テクノロジーの発展」： technological advances ▶ **advances in technology**
■ technological が technology（形容詞から名詞）に変わっています。

例 2) 「同程度重要である」： be equally important ▶ **be of equal importance**
■ equally が equal(副詞から形容詞)、important が importance(形容詞から名詞)に変わっています。

3. 文型の変化：主語を変えたり能動態⇒受動態（逆も可）への変化が代表例で、2文⇒1文のように、文の数を変えることもその一つです。

例 1) 「テクノロジーが発展したことで、オンラインショッピングがより身近になった」
Online shopping has become more common today due to technological advances.
▶ **Technological advances** have made online shopping more common today.
■ ここは主語が **online shopping** が **technological advances** に変わっています。

例 2) 「その都市は、毎年大量のプラスチックごみを出している」
The city **produces** a large amount of plastic waste every year. (能動態)
▶ A large amount of plastic waste **is produced** in the city every year. (受動態)
■ ここは能動態から受動態へ変わっています。

4. 定義化：単語や表現の定義を用いて言い換えます

例) 「都市化が一つの原因として、生息地の破壊が起こる」
The destruction of natural habitats occurs partly due to urbanisation.
▶ The destruction of natural habitats occurs partly due to **the concentration of population in urban areas**.
■ ここは urbanisation の定義が赤線で表されています。

以上がパラフレーズを効果的に行うための4つのテクニックです。

ちなみにこれらは単体で使うことはほとんどなく、複数を組み合わせてはじめてパラフレーズとなります。また、キーワードや固有名詞、または言い換えると意味や主題がぼやけてしまう語はパラフレーズしてはいけません（例: Japan / internet / cat）。

では最後に実際の問題を用いてどのようにして言い換えればよいか、例題を用いて見ていきましょう。

(例題)

The best way to increase understanding of different cultures is to work for a multinational company.

To what extent do you agree or disagree with this statement?

では早速下線部を言い換えてみます。2パターン（アとイ）の模範解答を提示しますので、どこがどう変わっているか、まずは分析してみてください。

では解説とあわせて進めていきます。

(回答例)

- ア Working in a multinational corporation is the most effective approach to develop intercultural understanding.
- イ Some people say that obtaining employment in a global company is the most appropriate option to raise cross-cultural awareness.

(解説)

ア 次のように語彙が言い換えられています。

- ・ a multinational company ▶ a multinational corporation
- ・ the best way ▶ the most effective approach
- ・ increase understanding of different cultures ▶ develop intercultural understanding

また、主語も「最善の方法」から「多国籍企業で働くこと」に変わっています。

イ 次のように語彙が言い換えられています。

- ・ work in a multinational company ▶ obtain employment in a global company
- ・ the best way ▶ the most appropriate option
- ・ increase understanding of different cultures ▶ raise cross-cultural awareness

また、設問文にはありませんが、Some people say that という表現が補足されています。このように、大きく意味が変わらない範囲であれば語を補っても構いません。

この問題は類語の置き換えがメインで、主語を変化させ文構造の変化も行われていますね。

もしかすると、「これは無理だ」と思われた方もいるかもしれません。解答例はあくまで模範解答なので、ここまで正確に本番に書くのは無理ですが、これに近いものを仕上げることであれば7.0も突破できます。

最後にこれまでのまとめと、その他のポイントを確認して終わりましょう。

- 1 最も重要なことは文全体の意味をつかむことで、これがパラフレーズの第一歩です。最初は木ではなく森を見るイメージで、その文で言いたいこと、メインアイディアは何か、をつかむことを念頭においてください。
- 2 100%意味を変えずパラフレーズするのはまず不可能です。ですので 80%を目安に言い換える意識を持ってください。
- 3 本番の試験で言い換え表現が思い浮かばない場合は、考え過ぎると時間のロスにつながるので、そのまま書いてください。

パラフレーズの概要と具体的な方法は概ねご理解いただけましたか？

すぐにマスターするのはチャレンジングですが、パラフレーズする意識付けを少しずつ高め、本番でも力を発揮できるよう少しずつトレーニングを積んでいきましょう！